

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-524537(P2011-524537A)

【公表日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-514757(P2011-514757)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 N

G 0 1 N 33/543 5 0 1 D

G 0 1 N 37/00 1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

癌を有する疑いのある被検者からの抗体を含むサンプルを用意し、

前記サンプルを G b 5 ならびに G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 の 1 以上とインキュベートして、前記サンプル中の抗体を G b 5 ならびに G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 の 1 以上に結合させ、

G b 5 に結合した抗体の量ならびに G l o b o H に結合した、B b 2 に結合した、B b 3 に結合した、または B b 4 に結合した抗体の量の双方を測定し、さらに

すべての結合した抗体の量に基づいて、前記被検者が癌を有しているか否かを決定することを有し、

癌を有していない被検者に比して、G b 5 に結合した抗体の量に対する G l o b o H に結合した、B b 2 に結合した、B b 3 に結合した、または B b 4 に結合した抗体の量の割合がより高いと、前記被検者は癌を有していることを示す、癌の検査方法。

【請求項 2】

前記インキュベートする段階は、前記サンプルを G b 5 および G l o b o H と混合することによって、前記サンプルを G b 5 および B b 3 と混合することによって、前記サンプルを G b 5 および B b 2 と混合することによって、または前記サンプルを G b 5、G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 と混合することによって、行われる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記サンプルが血清サンプルである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

G b 5 ならびに G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 の 1 以上は、支持デバイスに固定化される、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項 に記載の方法。

【請求項 5】

前記癌は、乳癌、メラノーマ、神経芽細胞腫、皮膚癌、肝癌、前立腺癌、卵巣癌、結腸

癌、胃癌、および膵臓癌からなる群より選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記癌は乳癌である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

G b 5 ならびに G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 の 1 以上は、支持デバイスに固定化される、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記インキュベートする段階は、前記サンプルを G b 5 および G l o b o H と混合することによって行われる、請求項 6 または 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 G b 5 および G l o b o H は、支持デバイスに固定化される、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記インキュベートする段階は、前記サンプルを G b 5 および B b 2 と混合することによって行われる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

前記 G b 5 および B b 2 は、支持デバイスに固定化される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記インキュベートする段階は、前記サンプルを G b 5 および B b 3 と混合することによって行われる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 13】

前記 G b 5 および B b 3 は、支持デバイスに固定化される、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記インキュベートする段階は、前記サンプルを G b 5、G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 と混合することによって行われる、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 15】

前記 G b 5、G l o b o H、B b 2、B b 3、および B b 4 は、支持デバイスに固定化される、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記サンプルが血清サンプルである、請求項 1 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の方法。